



こいけまさあき 千葉県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

新型コロナウイルスで危機に直面

オール千葉で成田空港を支援へ

空港は県の成長エンジン

北総の空港都市・成田市選出で自民党中堅議員として発言力を強める小池正昭(こいけまさあき)県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇しました。地元の成田空港と地域の発展を願う立場から、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい環境に置かれている成田空港に対する県としての支援を強く要望しました。課題である空港の機能強化や災害時の防災支援物資の見直しなど、小池議員の主な質疑を特集します。

小池議員 成田空港は新型コロナウイルスにより、まさに開港以来の危機に直面しています。新型コロナウイルス

森田知事 成田空港は、



フェイスシールドを付けて登壇した小池県議

9月県議会一般質問に登壇

本県経済発展の重要な核であり、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大きな影響を受けたことから、まずは、回復傾向にある国内線の需要喚起につながる取り組みが必要と考えています。

このため、本県が中心となり、初の試みとして、国内線すべての就航先19道府県や航空会社と連携し、国内線を利用した旅行機運の醸成や、航空機内などの安全安心を発信する取り組みを実施しているところです。

空港機能強化の現状

て、オール千葉の体制で利用回復を促すなど成田空港をしっかりと支えてまいります。

要望 成田空港の国際線の一部が羽田空港に移ってしまったという現実もあり、成田空港の国際航空需要の回復が、羽田空港よりも遅れる懸念もあるなど不安定要素が尽きない中ですが、成田空港は、空港周辺の自治体運営はもろろんのこと、県の行財政運営にも大きな影響を及ぼすため、ぜひ強い危機感をもっていただき、空港を支える具体的な行動をしてほしいと要望しておきます。

小池議員 成田空港のさらなる機能強化は、どのような状況にあるのか。

総合企画部長 国や空港会社からは、当面、新型コロナウイルス感染症の影響は大きいものの、さらなる機能強化は必要不可欠なものであり、計画どおり進めていくと聞いています。

具体的には、埋蔵文化財調査や土質調査を行っているほか、用地取得に向けては、現在、測量のための現地調査を実施しつつ、地権者宅への戸別訪問等を実施しており、順次手続きを進めています。

国家戦略特区の活用

県としては今後、機能強化に向けたさまざまな取り組みが本格化することから、空港会社と二層の連携を図りながら、引き続きさらなる機能強化の推進にしっかりと取り組んでまいります。

小池議員 成田空港周辺地域における国家戦略特区制度の活用に向けた検討状況はどうか。

総合企画部長 本年3月に策定した「実施プラン」において、地元市町や国、空港会社とともに、国家戦略特区制度などを活用し、民間事業者の参入しやすい地域づくりを目指しているところです。

成田空港や関連産業を地域で支えるためには、居住用地や事業用地の確保、外国人の活用などの推進が必要となりますが、その推進に当たっては、民間参入の支障となっている各種規制について、現在、空港関連企業などの意見を聞いています。

こうした意見を踏まえ、地域づくりにおいて課題となっている規制について、特区制度活用の可能性を国と意見交換するなど、必要な検討を進めています。

要望 空港周辺における地域振興策は、何度となく「絵に描いた餅」という批判を受けてきたが、それを繰り返さないためにも、県がまとめた「実施プラン」があり、地域からは「今度こそ」という強い期待が寄せられています。そのためにも土地利用などの規制緩和が必要であるとして国家戦略特区の活用が位置づけられました。新たな管政権においても規制緩和を前面に打ち出しているため、これまでの検討段階を脱して国家戦略特区の指定に向けた具体的協議が開始されるよう強く求めておきたいと思えます。

小池議員要望

●県政と成田市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

小池まさあき 県事務所

〒286-0025 成田市東町155-3 TEL 0476(22)0688

●メールもお気軽にご利用下さい。koike@ngy.3web.ne.jp

スマート農業の積極推進を要望



アクリル板に囲まれた自席の小池県議

農業にICTを導入

小池議員 スマート農業 実証プロジェクトの県内の取り組み状況はどうか。また、県はその成果をどのように活用していくのか。

農林水産部長 本事業は、ロボットやICTなどの先端技術を生産現場に導入し、農業者や民間企業、行政機関等で構成する協議会において、その効果の実証を行う国の事業で、令和元年度から神崎町で実施されているところであり、今年度からは東金市でも取り組みが始まりました。

農作業中の事故防止

小池議員 本県における農作業中の死亡事故の現状はどうか。また、農作業の安全にどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 本県における農作業中の死亡事故は、年間10件前後で推移しており、トラクターの横転や作業機への巻き込みなど、高齢者による事故が多いことから、安全意識の啓発と事故防止に向けた環境整備が重要と認識しています。

備蓄品目の見直し

小池議員 台風などの自然災害や感染症対策など、いわゆる複合災害に対応するため、新たな備蓄品目についても積極的に購入すべきと思うがどうか。

防災危機管理部長 県では、昨年の台風・大雨災害での物資支援の状況や、避難所における感染症対策のニーズを踏まえ、県の備蓄物資について品目等の見直しを図っているところです。

福祉へのコロナ影響

小池議員 新型コロナウイルスは、通所介護事業所や特別養護老人ホームの運営にどのような影響をもたらしているのか。また、県としてどのように支援しているのか。

健康福祉部長 運営への影響としては、通所系の事業所では、感染の不安からサービス利用が減ったこと、特別養護老人ホームでは、感染防止策の徹底に必要な経費が増大していることなどがあると承知しています。

児童養護施設の設置

小池議員 新たな民間児童養護施設の設置に向けて、今後、どのように取り組んでいくのか。

健康福祉部長 「基本計画」では、児童養護施設の定員が将来的に不足することが見込まれていることから、令和6年度までに民間児童養護施設を2カ所設置することも目標に定めました。

災害時の備蓄物資充実を!

神崎町の実証事業では、大規模水田においてGPSを利用した田植え機や農薬散布用のドローンなどの活用により、経験の浅い農業者

でも精度の高い作業が行えることや、農薬・肥料の使用を抑えられるなどの効果も確認されました。

県ではこれらの成果を、現在策定を進めているスマート農業の推進に向けた方針を策定する意義は何か

農林水産部長 現在策定中のスマート農業の推進に向けた方針は、農業にICTなどを導入することで、作業の省力化と生産性向上の両立をはかることを促進するものであり、これを一人でも多くの農業者が

実践することを目指しています。

要望 スマート農業について、導入促進のための情報提供や補助制度の充実など、県として積極的な取り組みを要望します。

要望 農作業の安全対策として、啓発だけでは限界がありますが、市町村や農業団体と連携して、危険箇所をしっかりと把握し、その改善を実施することを推進していただきたい。

また、農業機械の安全装備を充実させるなどの支援策も重要になりますので、「農作業事故の防止」に県として努めていただくよう強く要望します。

平成28年度からベッドから車いす等へ移動する際の介助や入浴支援などに使用する介護ロボットを施設が導入する経費に対し補助してきたところであり、これまでに延べ265施設で856台の介護ロボットが導入されました。

要望 通所介護、訪問介護、施設介護ともに厳しい運営状況が聞かれていますので、実態把握に努めて、必要な支援をお願いします。

小池議員 介護ロボットの導入促進について、補助限度額が引き上げられたとのことですが、事業者側の要望に応えられる予算措置をいただきたいと思います。



コロナ対策の本会場に立つ小池県議